

9月25日（日）まで開催の企画展「小杉小二郎一窓辺物語」。関連イベントとして、親子でも楽しめるオブジェを作るワークショップを開催しました！



小杉作品の参考例：  
《アルチザンの一生》2016年、  
ミクストメディア、個人蔵



美術部の皆さん、とても親切に  
補助してくれました



最後にみんなで鑑賞会をしました

諏訪西中学校（以降西中）美術部の皆さんが参加してくださいました。西中美術部の皆さんは、実は夏休み中にこの制作を体験済みで、今回は参加者の皆さんの補助に回って、お手伝いやアドバイスを積極的にしてくれました。参加者の小学生は、「お姉さんに手伝ってもらって良かった」と感想を残してくれました。中学生のお姉さんたちは、参加者の皆さんに自分の体験を生かしたアドバイスをしてくれて、とても助かりました。参加者の皆さん、西中美術部の皆さん、ありがとうございました！

## 企画展 関連イベント オブジェを作ってみよう！ レポート

2016.9.10

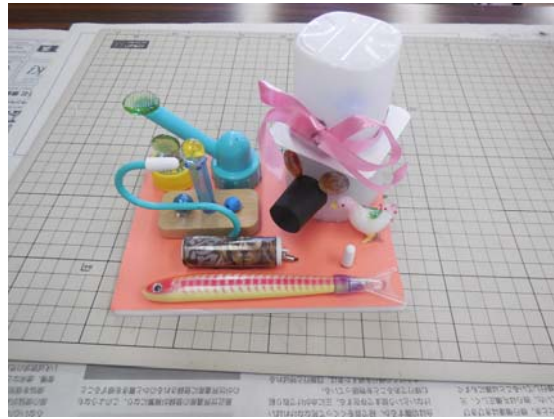
今回のイベントは、現在の展示にある小杉先生のオブジェを参考に、「オブジェって何？」の疑問に答えるような説明を学芸員がし、その後、実際に参加者の皆さんに制作してもらいました。

まず、オブジェ（仏・objet）とは…？言葉としては「もの」という意味です。小杉先生の作品を参考にしてみると、ペンチや時計の文字盤など、すでに誰かの手で作られた道具を作品の一部に用いています。オブジェは、物をその本来の用途として見るのではなく、その形や色それ自体を「もの」として受け取ります。それらを組み合わせ、自身の表現をそこに加えながら作品となります。

今回はこのような説明を、画像を用いながらとっても簡単に説明してから、制作に移りました。制作方法は、まず土台となるパネルに好きな色の画用紙を貼り付け、そこに色々な「もの」を配置し、ホットボンド（熱して溶かした状態のボンド）でくっつけていきます。

テーマを決めてから制作していく人もいれば、テーマを決めずに制作を進めていく人も。最終的には、出来た作品にタイトルを付けてもらい、鑑賞会をしました。普段は気にしないような「もの」の形や色を注意深く見て、それを組み合わせて作品にしていく様子がとても楽しそうでした！

今回のイベントは、3組5名の皆さんと、



タイトル《鳥のあつめたコレクション》



↑ 出来上がった作品の数々